



say she would be little wife to both.
『私、両方のお嫁さんになるから』



原作は、イギリス・ビクトリア朝時代の詩人、アルフレッド・テニスンによる散文詩(1864年作)。

美しい娘アニー・リー、裕福な粉屋の息子フィリップ・レイ、そして船乗りの父を海で亡くしたイノック・アーデン、幼なじみの三人は、断崖が続く海辺の小さな村で共に育つ。

やがてイノックはアニーと結婚し、幸せな生活を送るが、ある時甲板長として長い航海に出たまま10年経っても戻らない。帰りを待ち続けるアニーをフィリップは控えめに支え、ついに永年の恋心を告白、二人は結ばれる。だが、無情にも運命は…。

無償の愛、誠実な友情、死生観などが簡潔な言葉はこびで描かれるこの物語を、ドイツの作曲家リヒャルト・シュトラウスがメロドラマ朗読劇に仕立てました。台本の合間に音楽を挟み、自らピアノを弾き、ヨーロッパ各地で大変な人気を博したそうです。

一時間のクラシック Vol.5 は、語りとピアノのための“イノック・アーデン”。新たに一から手がけた日本語テキストでの上演です。格調高いバリトン・則竹正人氏の温かな声が、作品を進行します。

夏の午後のひととき、どうぞお楽しみください。



History

- vol.1 『五線にしたための感謝と敬愛～最後のソナタ』
共演 クラリネット 村井 祐児 (東京藝大名誉教授、元N響首席クラリネット奏者)
2017年7月 パームホール (蘭越)
- vol.2 『Romance ロマンズ』
共演 フルート 波戸崎 操
2018年8月 ザ・ルーテルホール (札幌)
- vol.3 『あこがれ』
共演 ヴァイオリン 楯山 久美
2019年8月 ザ・ルーテルホール (札幌)
- vol.4 『Prism プリズム』
共演 マリンバ 宮本 典子 (アンサンブル・ノマド 打楽器奏者)
2021年 8月 きたこぶしホール (札幌)
10月 音楽工房ホール (浜松)



則竹 正人
(朗読)

Masato Noritake
Reader

東京藝術大学卒業。同大学院修了。1982年札幌大谷短期大学に着任以来、北海道を中心に演奏活動を行う。オペラでは「フィガロの結婚」「魔笛」「リゴレット」他多数出演。2010年新国立劇場での公演「月を盗んだ話」にペトルス役で出演。

また、リサイタル開催の他「メサイア」「マタイ受難曲」「第九」「天地創造」など多数のコンサートのバス・ソロを務める。

2001年札幌文化奨励賞、2012年札幌市民芸術祭奨励賞、2016年札幌市民芸術祭大賞、2017年札幌芸術賞、各賞受賞。

合唱指導も行い、「雪柳会」「札幌市役所声友会」「コール・プリマ」「札幌大谷フラウエンコール」の常任指揮者を務める。現在札幌大谷大学芸術学部音楽学科客員教授。札幌室内歌劇場、札幌音楽家協議会、ハイメス・アーティスト、各会員。



大家 純子
(ピアノ)

Junko Oie
Piano

静岡県出身。国立音楽大学ピアノ専攻卒業後、モーツァルテウム音楽院(ザルツブルグ)に学ぶ。これまでにソロ、室内楽、伴奏ピアニストとして多数のリサイタル、コンサートに出演。CDレコーディングにも参加。中でも長年傾倒してきた歌曲の分野では関定子氏はじめ多くの声楽家と共演、マスタークラスでの公式ピアニストも務める。

2017年よりコンサートシリーズ「一時間のクラシック」を展開中。

女声合唱団リラ常任ピアニスト。岩内在住。

※ 引き続き感染対策が必要な場合、マスク着用、検温、名簿作成などにご協力をお願いいたします。
※ 発熱、風邪の症状、濃厚接触などに該当される方のご来場はお控えください。

※ 当日券につきましては直前にお問い合わせください。
※ 今後の感染状況により、安全な運営に向けての対策を追加しながら開催いたします。